

## 第17回市川市景観賞候補者活動概要

### 候補者

No. 1 大洲防災公園 ローゼンハイム広場 緑化活動  
緑化部門（景観賞表彰要綱第3条第3号に該当）

No. 2 花と緑のまちづくり財団による 花苗支援活動 I.G.C  
緑化、清掃部門（景観賞表彰要綱第3条第3号及び第4号に該当）

No. 3 アトリエ&カフェ 赤毛のアン  
緑化、建築・まちなみ（景観賞表彰要綱第3条第3号及び第6号に該当）

### 「市川市景観賞表彰要綱」（抜粋）

第3条 表彰は、次の各号のいずれかに該当し、かつ、本市における良好な景観の形成に顕著な功績のあったものに対して行う。

- 1号 都市計画法（昭和43年法律第100号）第4条第9項に規定する地区計画等、景観法（平成16年法律第110号）第81条第1項に規定する景観協定等の策定等に主体的に参画したこと。
- 2号 主体的に、良好な景観の形成に関する研修、催物その他の啓発活動を行い、又は参画し、良好な景観の形成に関する市民の意識の高揚に寄与したこと。
- 3号 5年以上にわたり、良好な景観を構成する建造物又は樹木を適切に保全又は管理を行っていること。
- 4号 5年以上にわたり、自主的かつ積極的に地域の清掃又は草花の植栽その他街並み又は自然の景観を保全する活動を行っていること。
- 5号 地域の特性及び周辺の環境に十分配慮して、街並みの整備又は当該整備に係る計画若しくは設計を行ったこと。
- 6号 地域の特性及び周辺の環境に十分配慮して、建造物の建築等又は当該建築等に係る計画若しくは設計を行ったこと。
- 7号 前各号に掲げるもののほか、これらに準ずると認められる活動を行ったこと。



候補NO. 1

対象活動	大洲防災公園 ローゼンハイム広場 緑化活動	他薦
要綱箇所	緑化部門（景観賞表彰要綱第3条第3号に該当）	
具体的な内容	<p>◇概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動内容：ローゼンハイム広場の緑化(バラ、草花、樹木)活動</li> <li>・活動場所：大洲防災公園 ローゼンハイム広場</li> <li>・活動団体：ローズオブ市川、グリーンサム市川、ナチュラルガーデンオブ市川</li> </ul>	
ローズオブ市川 (活動内容) バラの手入れ (活動期間・頻度) ・2017年～ ・月2回(不定期) (団体人数) ・121名	グリーンサム市川 (活動内容) 樹木の剪定 (活動期間・頻度) ・2019年～ ・年2回(7月・11月) (団体人数) ・約30名	ナチュラルガーデンオブ市川 (活動内容) 草花の手入れ・除草 (活動期間・頻度) ・2019年～ ・月1回 最終水曜日 (団体人数) ・約20名
<p>・花と緑のまちづくり財団によるバラの育て方講座を受けた修了生が集まり、市内のバラがある公園で活動している。</p> <p>・庭木の手入れ講座の修了生が、有志によりボランティア活動を開始。じゅん菜池と大洲防災公園にて活動している。</p> <p>・花と緑のまちづくり財団によるナチュラルガーデナー講座の修了生によって立ち上げられ、植物の観察、維持管理を学びながら活動をしている。</p>		
<p>※活動頻度は大洲防災公園のみのものになります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ローゼンハイム市から送られた「マリア リサ」等、ドイツのバラを中心としたバラ園と、その周辺の草花や樹木が混植している自然風景式に作られた市内でも珍しい形式の広場である。また、それぞれ活動内容・活動日が異なる3団体が連携し、「お互いがいるからこそ草花が映える」と、尊敬し合い活動している。</li> <li>・各団体が花と緑のまちづくり財団による講座を受講しており、手入れの方法等を熟知している。毎年、講座を受講した人に声をかけ、団体人数を増やしている。</li> <li>・広場ができた当初はバラしかなく、「防災公園に棘がある植物はどうか」と批判があったものの、現在は生垣や様々な植物があることにより、安全にバラを含む植物を楽しむことができる広場になった。</li> <li>・3団体ともボランティア活動について、「植物のお世話をすることで公園に来る人々に楽しんでもらいたいのはもちろんだが、多くの人と会話をするようになり、自身らの楽しみの一つにもなっているので引き続き活動を続けていきたい」と話しており、今後の活動にも期待できる。</li> </ul>		



公園を囲っている木の高さを超えないように剪定された広場の樹木



グリーンサム市川によって剪定されたサルスベリの木



満開時



ローズオブ市川の活動の様子



ナチュラルガーデンオブ市川の活動の様子



広場を囲う、低木や四季折々の草花



候補NO. 2

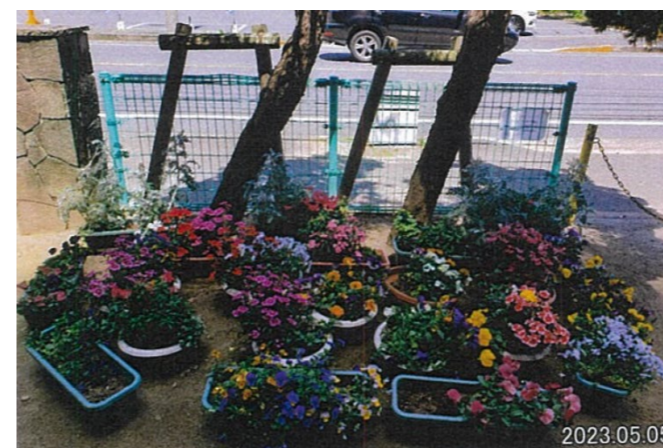
対象活動	花と緑のまちづくり財団による 花苗支援活動 I.G.C	自薦
要綱箇所	緑化、清掃部門（景観賞表彰要綱第3条第3号及び第4号に該当）	
具体的な内容	<p>◇概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動内容：りんどう公園内の清掃、植栽活動</li> <li>・活動期間：2017年～</li> <li>・活動場所：りんどう公園（二俣1丁目8）</li> <li>・活動頻度：花苗の植栽 →年2回～3回 花の水やり・ごみ拾い →毎日 除草 →週1回</li> <li>・活動人数：9名</li> </ul> <p>・イトーピア市川マンションに隣接している「りんどう公園」にて植栽、除草、ごみ拾い、公園周りの清掃などの緑化・清掃活動を行っている。公園内の花壇と、歩道沿いにプランターで花を配置することで、彩りが感じられる。また、除草とごみ拾いを一週間に1回行うことで綺麗な公園を保つ活動をしている。</p> <p>活動を始めてから、公園の利用者が増え、「いつもありがとうございます」「綺麗な花ですね」と声をかけられることにとっても嬉しく感じている。「このプランターを使ってください」と寄付して下さる住民もいること、人との会話に繋がりコミュニティが広がることに対しても、公園を綺麗にすることと同等に やりがいを感じている。</p> <p>・活動メンバーは9人だが、活動を知ってもらえるようにマンション内の掲示板にポスターを掲載したり、育てた花をプレゼントするイベントを開催したり、育てた花で手作りしたドライフラワーのスワッグ等を配布するバザーのようなイベントを行うなど、活動の周知に力を入れており、工夫が感じられる。</p> <p>・花と緑を増やしながら交流をしていくことで、コミュニティの広がりや新しい知識を得ることに喜びを感じており、自分達も楽しみながら、周囲の人にも楽しんでもらえるような活動を、工夫し、試行錯誤しながら続けていきたいとのこと。活動について知ってもらえる機会を多く設けていることから、周囲への景観形成に対する意識が向上していくことが期待できる。</p>	



除草された公園（入口）



除草された公園（中央）



プランターの花苗（5月）



公園内花壇（7月）



公園内花壇（9月）



ペチュニア（花壇）



育てた花で作ったスワッグ

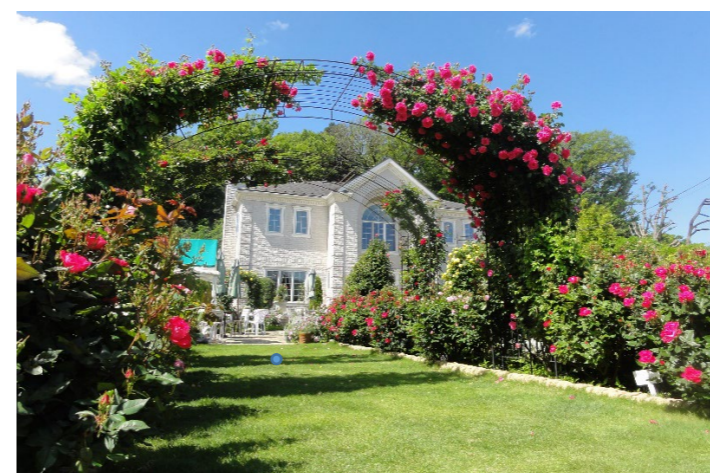


配布したミニプランター

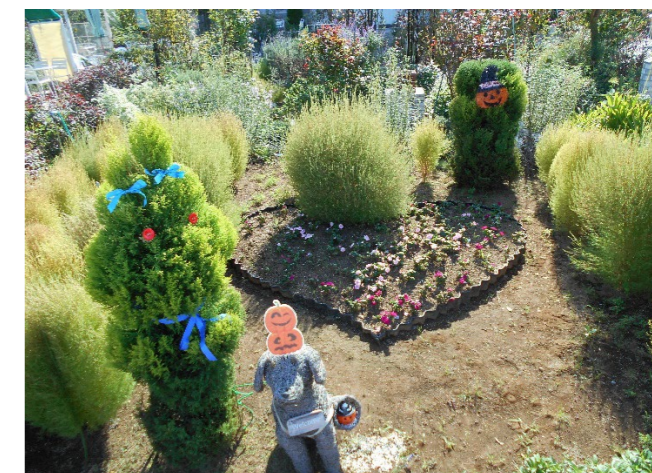


候補NO. 3

対象活動	アトリエ&カフェ 赤毛のアン	他薦
要綱箇所	緑化部門、建築・まちなみ（景観賞表彰要綱第3条第3号及び第6号に該当）	
具体的な内容	<p>◇概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・場所:大野町3丁目1940</li> <li>・2017年10月オープン</li> <li>・2019年～いちかわオープンガーデン参加</li> <li>・日本で唯一、カナダの「赤毛のアン」公式ライセンスを取得しているカフェ</li> </ul> <p>(活動内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幼少期から住んでいる町に、自分で目印になるスポットを作ろうと、「アトリエ&amp;カフェ 赤毛のアン」をオープンした。金曜日から月曜日の4日間はカフェを運営している。カフェがお休みの日にも、アトリエとして教室を開いているため、植物の手入れは早朝や夜間等、空いた時間で行っている。バラをはじめとした様々な植物が植えられており、季節に合わせた装飾や、動物の形を模した木の剪定を行っている。</li> <li>また、季節によって、バラのトンネルや、花を咲かせたガゼボの下を潜ることができ、撮影スポットとしても意識して手入れをすることで、訪れる人をより一層楽しませている。写真撮影がしやすい点や、赤毛のアンのカフェという点から、植栽にあまり興味がない若年層の関心を引くこともでき、今後の景観形成活動に繋がること期待される。</li> <li>・店長が可能な限り自身の手で剪定を含む作業をしている。常に綺麗な状態を維持することに苦労しているとのことだが、いつだれが来ても迎えられるように意識して毎日手入れを欠かさないようにしている。</li> <li>・いちかわオープンガーデンには2019年から参加している。2018年に開催した際に、様々なお庭を見て回ったことをきっかけに、ガーデニングの交流が広がり、自身も参加するようになった。また、母校（大柏小学校）から依頼を受け、小学生が町探索の授業で来訪する等、地域への貢献できていることにやりがいとうれしさを感じている。</li> <li>・後方の城山と調和するように、建築物にはイギリスのジョージアン様式を採用し、それに合わせてバラ等の植物が植えられている。庭のお気に入りポイントはガゼボで、季節になるとバラのカーテンが垂れるなど、常に綺麗に保てるよう努力している。</li> </ul>	



満開時のバラのトンネル



ウサギの木とハートの花壇（秋）



建物(カフェの入り口側)



店内(右上)と「赤毛のアン」のストーリーにちなんだメニュー



正面



庭(ガゼボとタイル張りの道)